CNA レポート・ジャパン
Conferencing News & Analysis, Report on Japan market - CNAReportJapan
創刊：1999 年 12 月
発行日：毎月 15 日・月末
PDF による発行
オンライン会議（ビデオ/Web/音声）システム市場専門トレンドワッチ　Vol. 27 No.21 2025 年 11 月 30 日

製品・サービス動向-国内

■tonari：「空間拡張インフラ」の新モデル「tonari3」、設置の柔軟性、ネットワーク適応性、操作性、価格を大幅にアップデート

（PRTIMES:11 月 20 日）

tonari 株式会社（https://tonari.no/ ）（東京都渋谷区）は、遠隔地同士を「同じ空間のように」つなぐ空間拡張ポータルの新モデル「tonari 3」を発表した。

tonari 3 イメージ(tonari)

同社は、深刻化する人手不足、拠点分散、現場リソースのひっ迫といった課題をかかえる企業や団体に対し、場所にとらわれない協働体制＝「空間拡張インフラ」を提供している。新モデルはより多くの組織が広く使えるよう、設置の柔軟性・ネットワークの適応性・操作性・価格を大幅にアップデートした。

tonari は、等身大スクリーンと高速映像・音声処理によって、遠隔拠点を超低遅延でつなぐ空間拡張テクノロジー。いつでも自然に声がかけられ、視線やふるまいがそのまま伝わる、まるで同じ場所にいる一体感を生み出す。

導入先は、JR 東日本や NTT 西日本などのインフラ企業、トヨタ未来創生センター、Honda Innovation といった国際企業の先端研究、オープンイノベーション拠点、中小企業スタートアップまで多岐にわたる。教育分野においてはハーバード大学や京都芸術大学に加え、介護施設や地方のコミュニティスペースにも導入されており、日本国内はもちろん、欧米や東南アジアを含む国内外の多様な施設で活用が進んでいる。

tonari 3 は、これまでの体験をさらに進化させ、より導入しやすく、使う空間を選ばず、柔軟性の高い設計へと大幅アップデートした。大企業の多拠点展開から、スタートアップ・学校・クリエイティブスタジオ・店舗、さらには家庭まで幅広い空間で使える「もっとも手が届きやすい tonari」という。

tonari のカテゴリーポジション：対面で過ごせる唯一のコミュニケーションテクノロジー（tonari）

tonari 3 は、3K・60fps 映像、100ms 未満の超低遅延、透明感のある多チャンネル音声で映像と音声は世界最高レベルを維持している。さらに新搭載のライブパフォーマンスモードのほか、WiFi bridge/5G/Starlink に対応し、必要帯域も最大 80%削減することが可能となっている。加えて、従来のように標準のシェアモニターがなくても、OLED ディスプレイ型のダイヤルで直感的な単体操作が可能になりネットワーク要件を大幅に緩和した（無線・有線対応）。

また、従来のように標準のシェアモニターがなくても、複数モニターへの柔軟な接続により、壁に設置、壁に寄せる、自立式など多様な空間にフィットする。

導入作業はよりスムーズになり、セットアップ時間は最短 2 時間で完了する。

これらの新機能により、適応可能な利用シーンが拡大されたという。設置条件や利用ケースに柔軟性が求められる空間への導入が容易になった。また、複数拠点での接続を瞬時に可能にする「ロケーションホッピング」と組み合わせることで、従来以上に空間をつなぐ体験が可能になった。

なお、11 月 21 日～12 月 18 日まで虎ノ門に期間限定のショールームにて tonari 3 を体験できるという。事前予約が必要となっている。

＊デモ体験＆オフィスツアー予約：
https://tonari.no/ja/get-started

■ブイキューブ：ワークブース「TELECUBE by OKAMURA」シリーズの天井クーラータイプを発売

（PRTIMES:11 月 10 日）

株式会社ブイキューブ（https://jp.vcube.com/）（東京都港区）は、テレキューブ株式会社（https://jp.vcube.com/telecube/lineup ）（東京都千代田区）、株式会社オカムラ（https://www.okamura.co.jp/）（神奈川県横浜市）と、三社で共同開発したワークブース「TELECUBE by OKAMURA(テレキューブ by オカムラ)」シリーズに天井クーラータイプを追加、12 月より発売する。1 人用から 4～6 人で使用可能な多人数用までラインナップしている。価格はオープン。

TELECUBE by OKAMURA（ブイキューブ）

TELECUBE by OKAMURA は、さまざまな場所に容易に設置できる屋内用フルクローズ型のワークブース。2018 年 12 月の発売以来、オフィス内に設置する企業向けモデルや、オフィスビルエントランス・駅・商業施設などに設置する公共空間向けモデルが数多く導入されているという。とくにオフィス内への設置の需要が高いためさまざまなタイプを展開しており、数多く導入されているという。仕事の内容に合わせて時間や場所を選んで働く「Activity Based Working(ABW)」やテレワーク、出社とテレワークを組み合わせたハイブリットワークなど働き方の多様化が進み、Web 会議や集中作業、打合せ、面談などさまざまな用途で活用されている。

昨今、オフィスへの出社が増えてきていることにより、対面での会議や打ち合わせの増加に加え、オフィスから長時間の Web 会議に参加する機会や面談などで個室の連続使用の機会が増え、会議室や個室に代わって TELECUBE by OKAMURA が活用されている。多人数での使用や長時間使用するケースが増えるなど活用方法の変化により、換気機能に加えてワークブース内の温度調節の必要性が高まってきたという。

そこで TELECUBE by OKAMURA 天井クーラータイプは、天井からの冷風でワークブース内を設定した温度まで調節し、快適さを保つ。クーラーを天井に設置しているため、ワークブース内で使用できる広さや利用人数は従来のものと変わらない。クーラーの排気は天井上部で行うため、廃棄のための空間を確保する必要がなく、壁際や横並びなど従来と変わらないブースレイアウトが可能となっている。1 人用から多人数用まで豊富なラインナップを展開している。なお、天井部材を交換することにより天井クーラーの後付けが可能となっている。

3 社によると、TELECUBE by OKAMURA の豊富なラインアップにより、さまざまな用途に対応し、利用人数や利用時間に関わらず、快適な個室環境を提供するとしている。

ビジネス動向-海外

■Zoom Communications 社：柔軟性と成長に注力した新パートナープログラムを発表

（PRTIMES<ZVC JAPAN 株式会社>：11 月 11 日）

Zoom Communications 社（https://www.zoom.com/ja）（米国・カリフォルニア州）は、「Zoom Up パートナープログラム」の大幅なアップデートを発表した。

Zoom Up Partner Program(ZVC JAPAN)

今回のアップデートについて Zoom Communications 社によると、従来のパートナープログラムは初期段階では有効だったが、グローバルパートナーエコシステムの多様性と成長に合わせて拡張できるよう設計されていなかったという。その結果パートナーが提供する価値を十分に把握できていなかった。パートナーが Zoom と一緒に成長できるとともに、顧客が必要なときに最適な専門知識を見つけられるような、より柔軟で透明性が高く、成果に基づく新しいモデルの必要性を実感したとしている。

今回発表されたプログラムの主な変更点は以下の通り。

（1）パートナーは個別にカスタマイズされた評価基準で評価され、それぞれのビジネスモデルに特化した測定基準と評価報酬が適用されるようになる。

（2）Zoom は柔軟性を欠いたチェックリスト方式から脱却し、パートナーのビジネス目標にもっとも適した活動に対して点数を獲得できる、柔軟なポイント制モデルへ移行する。

（3）固定された年次評価サイクルがより明確な枠組みと予測可能性を提供することで、パートナーは年間計画を正確に立てやすくなる。

（4）Zoom サービスサーティフィケーションプログラムを Zoom Up プログラムに統合し、既存のセールスコンピテンシーと組み合わせる。これにより、パートナーは専門分野ごとに認定されることになる。Zoom はプログラムレベルとプログラム属性の価値を定義し提示するので、顧客は自社のニーズに最適なパートナーを迅速に特定できるようになる。

（5）2026 年 2 月より、新しいパートナー向けのダッシュボードを導入する。このダッシュボードにより、パートナーは複雑さを解消し、目標や達成状況を簡単に確認できるようになる。

＊Zoom Up パートナープログラムの詳細：
https://partner.zoom.com/ja/

セミナー・展示会情報

＜国内＞

■Yealink × VTV ジャパン 共同リアルセミナー
オンライン会議室の未来を拓く！最新ソリューション体感セミナー

日時：12 月 4 日(木)［14:30 開場 15:00 開演］/
12 月 5 日(金)［14:30 開場 15:00 開演］
会場：東京会場（VTV ジャパン東京オフィス）
/大阪会場（同社大阪オフィス）
主催：VTV ジャパン株式会社
詳細・申込：
https://www.vtv.co.jp/seminar/2512vtv/

■ブイキューブセミナー情報（12 月）

「会議室不足と固定電話問題を同時解決！低コストで自由に実現するオフィス改革」「】【Zoom × V-CUBE】商談を自動採点！ Zoom と AI で構築する最強のセールスプロセス」など
会場：オンライン/オンデマンド/東京
主催：株式会社ブイキューブ
詳細・申込：https://jp.vcube.com/event/all

■Webex Meetings 関連ウェビナー（12 月）

会場：オンデマンド
主催：シスコシステムズ合同会社
詳細・申込：https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/training-events/events-webinars/collaboration-webinars.html

国内その他：https://cnar.jp/cna/event-j.html

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

オンライン会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月 2 回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック（遠隔会議＆UC トレンドワッチ）
https://www.facebook.com/unifiedcom
■X（旧：Twitter）（遠隔会議＆UC トレンドワッチ）
https://twitter.com/cnarjapan
■メーリングリスト（dtc-forum）
https://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html

定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999 年～最新号）は下記 URL で閲覧できます。
https://cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm

お知らせ（重要）

―配信システムの変更について：

長年配信システムのひとつとして使用してきました、まぐまぐですが、すでにご案内の通り、まぐまぐでの配信を 2024 年 10 月末号にて終了いたしました。今後は、CNA レポート・ジャパンのサイト、X（旧ツイッター）、facebook ページ、dtc-forum メーリングリストでの配信とさせていただきます。

この定期レポートをまぐまぐで受信されている読者の方は大変お手数ですがいずれかの受信方法へご変更お願い致します。

>CNA レポート・ジャパン サイト
https://cnar.jp
>X(旧ツイッター)
https://x.com/cnarjapan
>facebook ページ
https://www.facebook.com/unifiedcom
>メーリングリスト（dtc-forum）
https://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html

■今年の定期レポートは今号にて終了です。12 月 15 日号と 12 月 31 日号は勝手ながらお休みとさせていただきます。次号は来年 2026 年 1 月 15 日号からスタートします。また来年も何卒宜しくお願い致します。

■CNAレポート・ジャパン 2025年11月30日号
ホームページ: https://cnar.jp
お問い合わせ：inquiry@cnar.jp